

2010年9月期 第2四半期累計(中間)事業報告

自 2009年10月01日

至 2010年03月31日

株式会社フルキャストテクノロジー

2010年9月期 第2四半期累計(中間決算) 業績サマリー

(単位:百万円)

| | 2009年9月期 第2四半期累計 | | 2010年9月期 第2四半期累計 | | |
|-----------------|------------------|-------|------------------|-------|--------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | 前年同期比 |
| 売上高 | 3,981 | 100% | 2,161 | 100% | △45.7% |
| 売上総利益 | 1,211 | 30.4% | 511 | 23.6% | △57.8% |
| 営業利益 | 360 | 9.0% | 102 | 4.7% | △71.7% |
| 経常利益 | 356 | 8.9% | 101 | 4.6% | △71.6% |
| 四半期純利益 | 150 | 3.7% | 22 | 1.0% | — |
| 1株当たり 四半期純利益 | 2,666.15円 | — | 390.35円 | — | — |

2010年9月期第2四半期の概況

当第2四半期期間における我国経済は、一部経済指標に改善の兆しが見られるものの、設備や雇用の余剰感は強く、依然として厳しい状況が続きました。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機械・半導体等の製造業界におきましては、在庫調整の進展等により生産回復の兆しが見受けられる動きもありましたが、景況の先行きが不透明な為、一部研究開発の削減や採用の抑制が続いておりました。

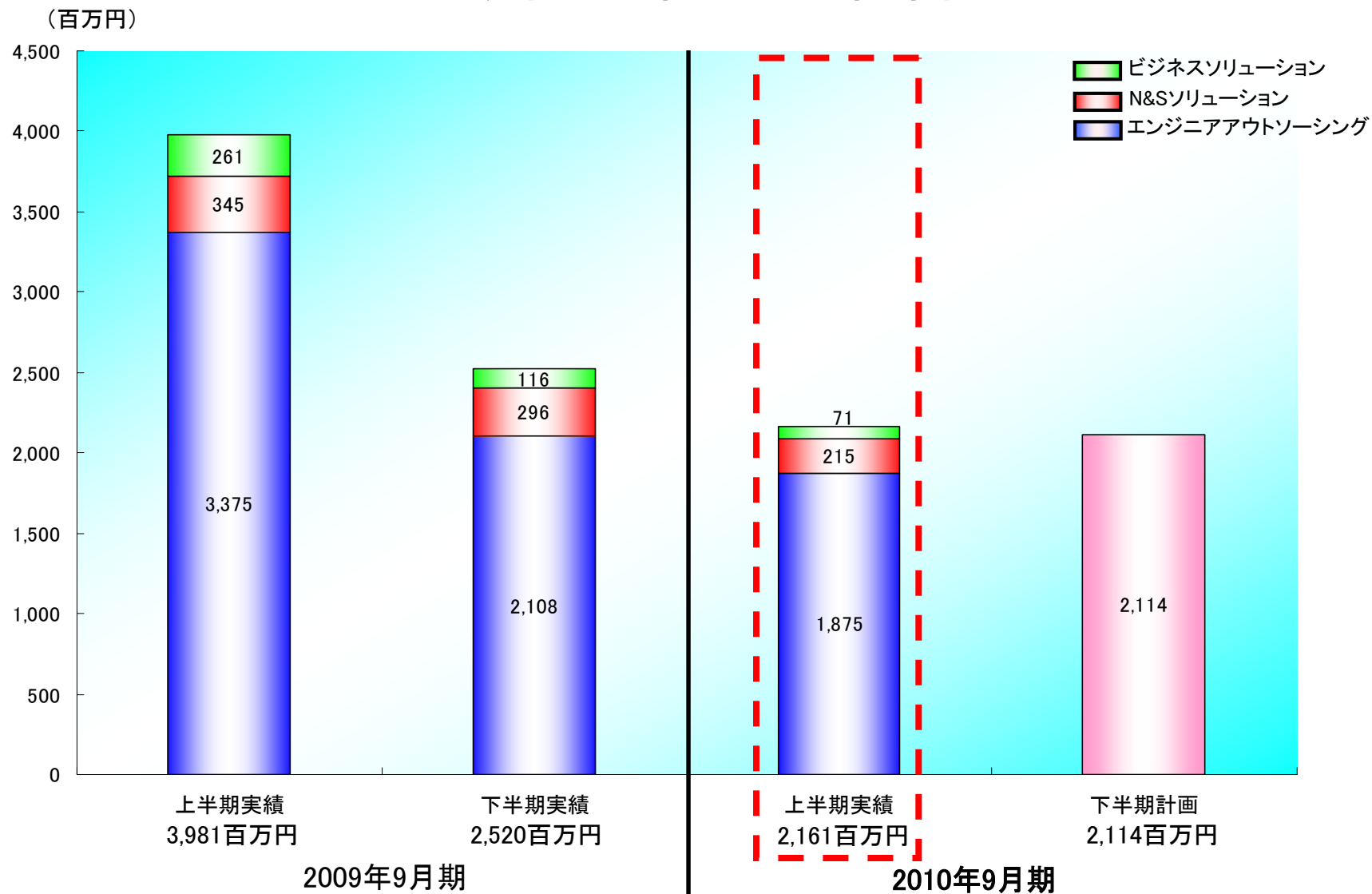
このような状況の中で、当社におきましては、引き続き人材の育成に注力し、付加価値の高い人材サービスの提供をすることで顧客ニーズに対応すると共に、エンジニアリングアウトソーシンググループ(以下EO)とN&Sソリューショングループ(以下N&S)を統一し顧客接点を拡大する体制を構築し、サービスの充実及び派遣率の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、現時点では、稼働人員の減少は止まったものの、当第2四半期累計期間では前年同期に比べ稼働人数が減少したことから減収となりました。

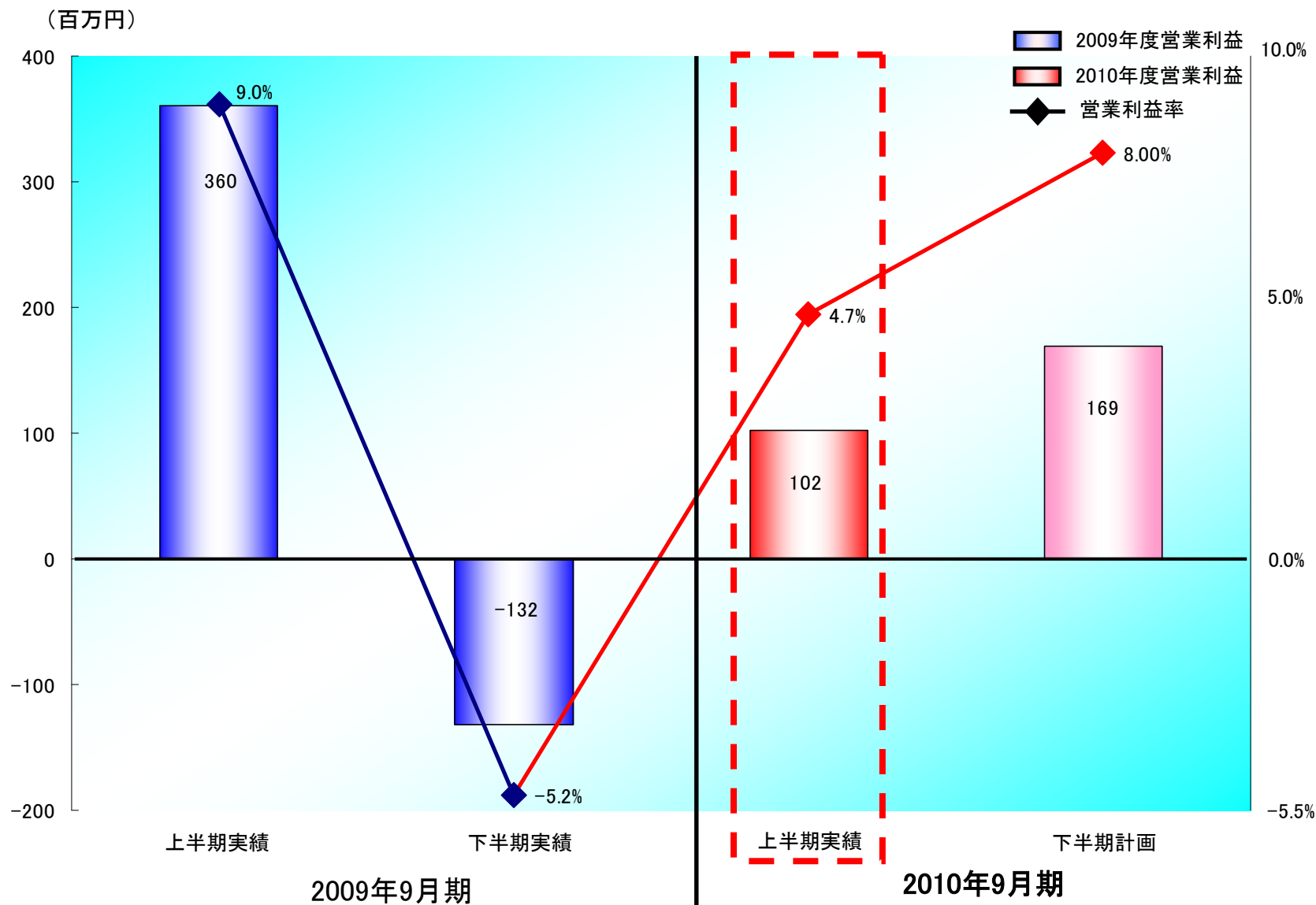
営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、社宅の集約化による家賃地代の削減、その他費用についても大幅な抑制を実施したことから計画を上回る数値となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,161百万円(前年同期比45.7%減)、営業利益102百万円(前年同期比71.7%減)、経常利益101百万円(前年同期比71.6%減)、四半期純利益22百万円(前年同期比85.4%減)となりました。

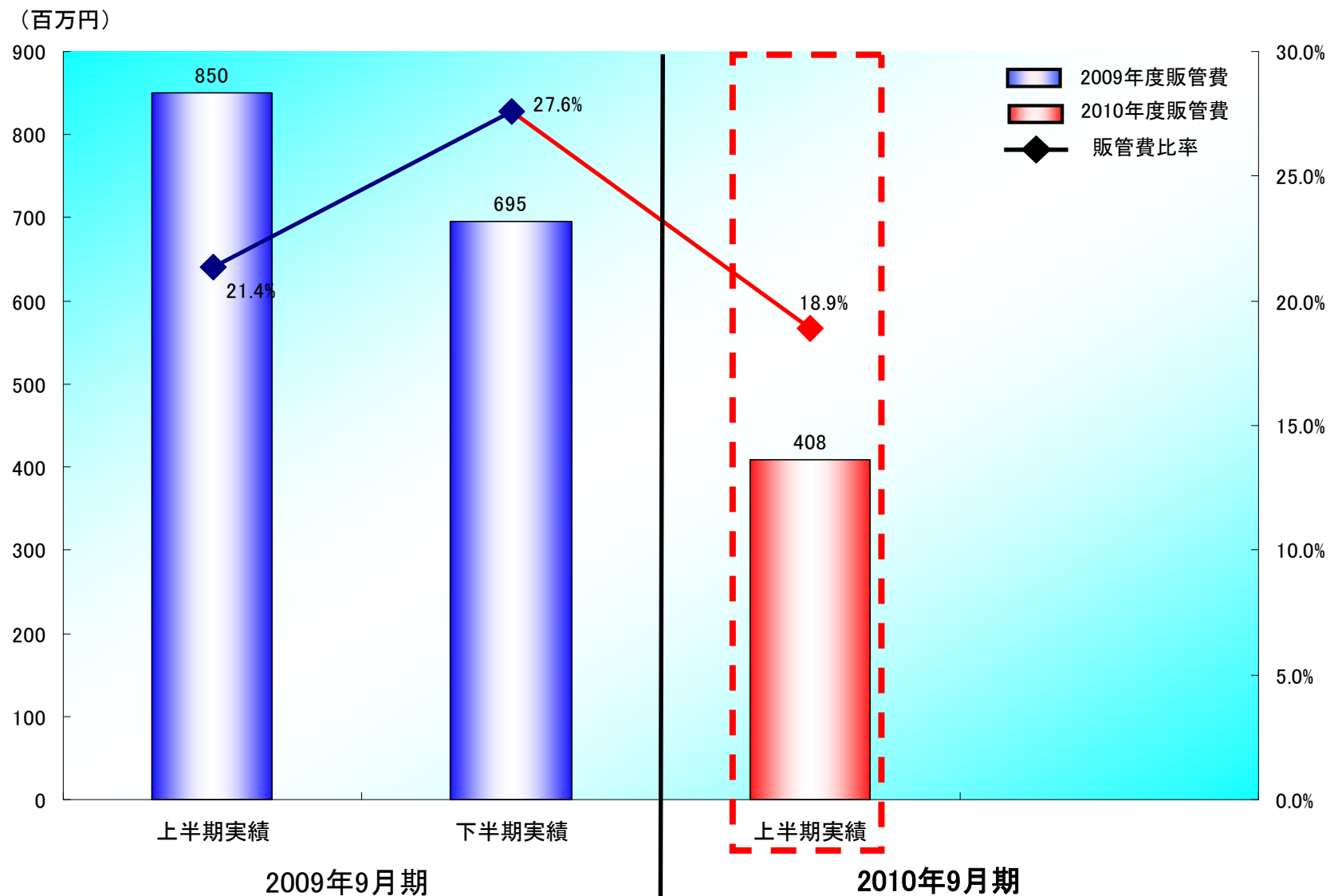
四半期累計の部門別売上高推移



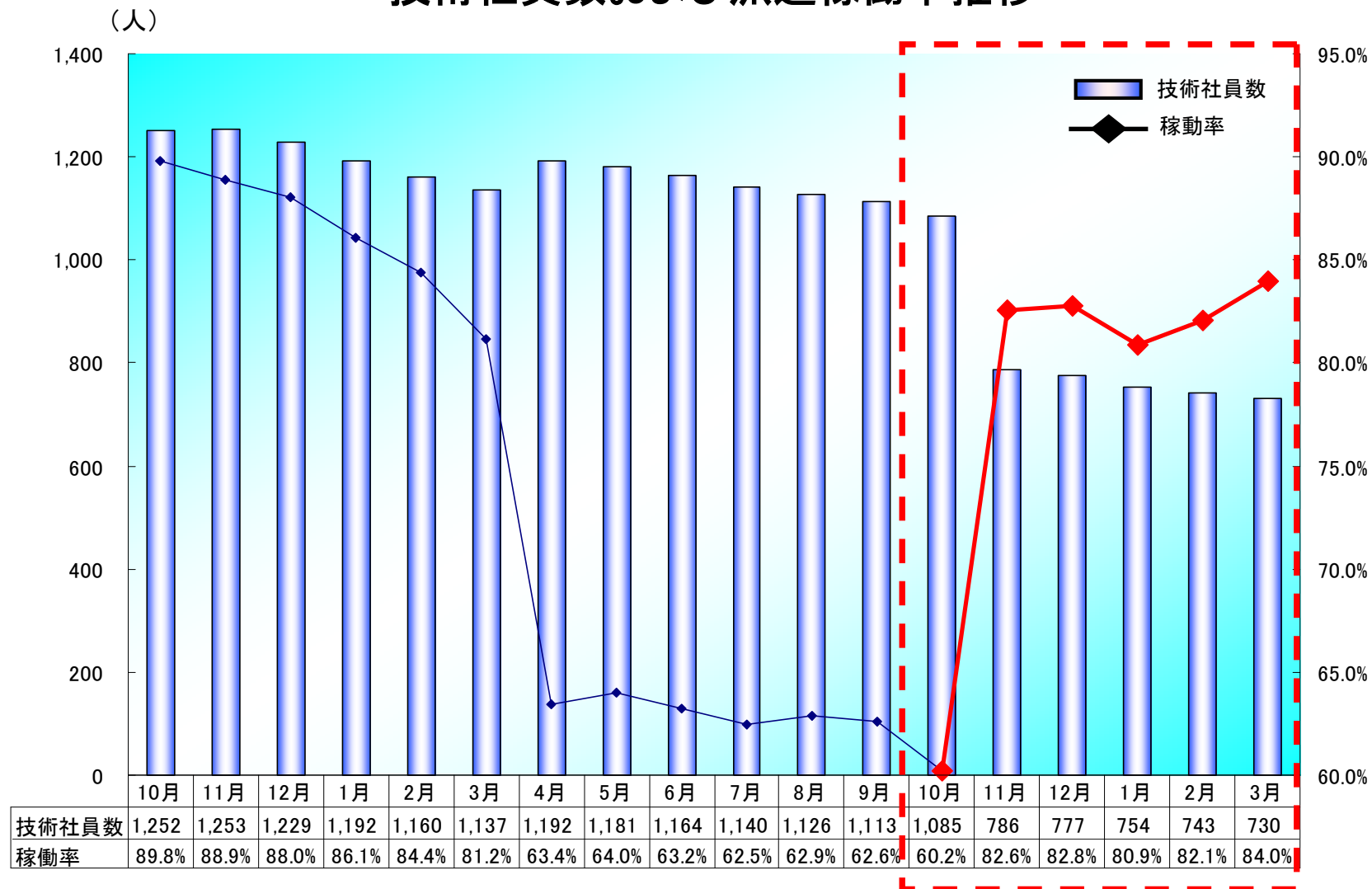
四半期累計の営業利益および営業利益率推移



四半期累計の販管費および販管費比率推移



技術社員数および派遣稼働率推移



- (注) 1.EO+N&Sの実績数値になります。
 2.登録、外注社員等は含まれていません。
 3.新卒は含まれています。

FULLCAST TECHNOLOGY

<http://www.fc-tec.co.jp>

お問い合わせ先

IR担当窓口 管理本部

TEL: 044-820-8620 / e-mail: IR@fc-tec.co.jp

Fullcast Technology IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。

本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Technology IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。